



平成 21 年 5 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 マ サ ル
 代表者名 代表取締役社長 荻谷 純
 (JASDAQ・コード 1795)
 問合せ先 取締役管理本部長 大木 信雄
 (TEL. 03-3643-5944)

業績予想の修正及び特別損失の発生並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 6 日に公表しました平成 21 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。これに伴い、平成 20 年 11 月 7 日に公表しました配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期連結累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

連結業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,800	150	140	△60	△14 円 43 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	9,330	110	105	△80	△19 円 77 銭
増 減 額 (B-A)	530	△40	△35	△20	—
増 減 率 (%)	6.0	△26.7	△25.0	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	9,275	292	281	75	18 円 26 銭

(2) 平成 21 年 3 月期累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

個別業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,750	170	150	△50	△12 円 03 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	9,310	130	115	△80	△19 円 26 銭
増 減 額 (B-A)	560	△40	△35	△30	—
増 減 率 (%)	6.4	△23.5	△23.3	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	9,243	321	294	73	17 円 62 銭

2. 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想の修正の理由

売上高につきましては、前期に受注した工事案件の追加工事が増加したことにより予想を上回る見込であります。営業利益、経常利益につきましては、建築材料の価格高騰が影響し工事原価が予想以上に膨らんだことや、新築工事部門での競争激化に伴う受注単価の下落で粗利益率が低下するなどの要因により、上記のとおり修正いたしました。

また、収益性が低下している固定資産や会員権等の資産価値の見直しによる減損処理を実施することに加え、繰延税金資産の回収可能性を精査した結果、取崩しが当初の見込を上回ることから当期純損失となる見込であります。

(2) 個別業績予想修正の理由

連結数値の修正の主な要因は当社にあり、売上・利益ともに原因につきましては上記と同様であります。

3. 特別損失の計上及びその内容

(1) 固定資産減損

景気後退により事業環境が急激に悪化したこと及び競争激化と需要の減少等を勘案し、保有する事業用固定資産の回収可能性を検討した結果、減損損失27百万円（連結・個別同額）を計上いたします。

(2) 会員権貸倒引当金繰入額

保有する会員権に対して、回収可能性につき慎重に検討した結果、保守的な観点から貸倒引当金繰入額44百万円（連結・個別同額）を計上いたします。

(3) その他

上記のほかには会員権評価損12百万円、投資有価証券評価損3百万円等を計上いたします。

4. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成20年11月7日)	—	6円00銭	6円00銭
今回修正予想	—	4円00銭	4円00銭
前期(平成20年3月期)	0円00銭	6円00銭	6円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営課題の一つとして位置付けており、業績に裏づけられた成果配分を安定して行うことを基本方針としております。平成21年3月期の業績見込が当期純損失を計上することから誠に遺憾ではございますが、1株当たり配当金を当初予想から2円減配し年間4円に修正させていただきます。

(注) 上記の連結業績予想及び個別業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上